

ヘルスケア・イノベーション ヘルスケア産業における新規事業成功要因の分析 〈図書紹介〉

玄場 公規¹⁾ 新井 卓二²⁾ 小野 恭義³⁾

抄 録

本書は、ヘルスケア分野を念頭に置いたイノベーション戦略の基礎知識と、大手企業の事例分析・解説によって、ヘルスケアビジネスにおける新規事業創出戦略を手引きする。今後の成長が約束されている「ヘルスケアビジネス」市場の先行事例と新規事業創出戦略を徹底解説する1冊である。急成長するヘルスケア市場で勝つために、今、知っておきたいイノベーションを解説している。出版社は、同友館、発売日は2020年10月20日、言語は日本語、形式は単行本で180ページである。ISBN-10：449605499X、ISBN-13：978-4496054990

キーワード：ヘルスケア イノベーション 新規事業 ヘルスケアビジネス

I. 章割り

はじめに

第1章 ヘルスケアのイノベーション

- 1 ヘルスケア産業
- 2 イノベーション
- 3 ビジネスモデル
- 4 まとめ

第2章 新規事業創出戦略

- 1 戦略の重要性
- 2 外部の積極的な活用
- 3 試行錯誤の重要性
- 4 具体的な新規事業テーマの提案
- 5 スタンフォード大学の先進事例
- 6 まとめ

第3章 ヘルスケアビジネスの潮流

- 1 ヘルスケアビジネスコンテストからみるイノベーション
- 2 ヘルスケアサービスガイドライン
- 3 日本発のヘルスケアビジネスの海外展開の可能性
- 4 海外から日本参入のヘルスケアテックビジネス
- 5 ヘルスケアビジネスの将来像

第4章 ヘルスケアビジネスの要諦

- 1 ヘルスケアの領域
- 2 ヘルスケアビジネスの戦略
- 3 ヘルスケア・イノベーションの事例
- 4 ヘルスケアビジネスの将来像
- 5 健康経営におけるヘルスケアビジネス

第5章 ヘルスケアビジネスの具体的事例

- 1 株式会社 Moff
- 2 株式会社 NeU
- 3 株式会社ニューロスペース
- 4 オムロン ヘルスケア株式会社
- 5 一般社団法人社会的健康戦略研究所
- 6 まとめ

おわりに

II. 表紙



III. 章解説

第1章では、ヘルスケア産業が成長産業として期待されている点、これにあわせて事業会社における新規事業への期待が述べられている。また新規事業において、イノベーションの重要性、ヘルスケアにおけるイノベーションに触れつつ、課題と、サービスの重要性についても説明し、イノベーションのための新しいビジネスモデルについて、ヘルスケアビジネスにあてはめて紹介している。

第2章では、戦略について定義し、競争優位の差別化におけるイノベーションの必要性及び、リードユーザーの獲得、外部の活用するオープンイノベーション、技術に頼らない途上国のニーズからのリバースイノベーションについて説明している。また、イノベーションの創出には不確実性があることから、試行錯誤の重要性を指摘している。次に具体的なテーマの提案方法としてデザイン思考や未来洞察、潜在需要と技術シーズの掛け合わせについても主張している。さらにスタンフォード大学の事例を紹介している。

第3章では、著者がヘルスケア含むビジネスコンテストの主催者の立場から受賞企業を分析し、ヘルスケアビジネスの潮流を読み解いている。また経済産業省のヘルスケアサービスガイドラインから新規事業も起こせる可能性や海外展開の可能性も述べ、ソーシャルインパクトボンド等のヘルスケアビジネスの新しい形も幅広く紹介している。

第4章では、著者がヘルスケアビジネスの経営者としてヘルスケアの領域を定義するとともに、新規事業をスタートする際の戦略は、成長性とエビデンスやマーケティング戦略には時間をかけて積み上げることが必要であることを述べている。また海外や日本での事例、ヘルスケアビジネス特有の規制を紹介している。さらに Well-Being との関係、ビジネスアイデアの出し方、ジョブ理論や活用について、そして流行している新しい経営手法である健康経営とそれに資するサービスやモノについて解説している。

第5章では、ベンチャー3社、大企業1社の新規事業、営利を目的としない1社団法人の取り組みを取材し紹介している。

総じて、本書は、「ヘルスケアビジネス」という成長市場と先行事例と新規事業創出戦略の徹底解説を試みたものである。

IV. 著者紹介 (刊行当時)

玄場公規 (担当章: はじめに、第1章、第2章)

法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科・教授。大阪大学大学院工学系研究科・招聘教授。東京大学学術博士。三和総合研究所研究員、東京大学大学院工学系研究科助手、東京大学工学系研究科アクセンチュア寄附講座助教授、スタンフォード大学客員研究員、芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科助教授、立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科副研究科長・教授、滋賀医科大学非常勤講師を経て、現職。『イノベーション戦略入門』、『後継者・右腕経営者のための事業承継7つのステップ』など著書多数。

新井卓二 (担当章: 第4章、第5章、おわりに)

山野美容芸術短期大学特任教授。経済産業省健康投資WG専門委員。経済産業省地域ヘルスケアビジネス創出アクセラレータ。経営学修士(MBA)、大阪大学学術博士。証券会社勤務を経て、法人向け出張リラクゼーション株式会社 VOYAGE を起業し売却。明治大学ビジネススクールTA、昭和女子大学研究員、山野美容芸術短期大学講師を経て現職。「健康経営 新井研究室」を主宰。経済産業省等官公庁ほか、健康経営で先進的な企業を招き勉強会等を開催。また健康経営企業への学生訪問プロジェクトも開催し普及に努める。「『健康経営』の投資対効果の分析」等健康経営の論文多数。

小野恭義 (担当章: 第3章)

公益財団法人大阪産業局プランナー。株式会社SRS技研代表取締役。近畿大学商経学部卒業後関西学院大学大学院経営戦略研究科修了(MBA)、その間出版・広告業界からネット通販事業の立ち上げを経て、近畿経済産業局が実施する関西の中小企業の航空機産業参入支援事業に参画。大阪産業局にて経済産業省「地域ヘルスケア構築推進事業(H24、25、27)」を責任者として実施。平成27年より大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム(OKJP)事務局を設立当初より務め、ヘルスケアビジネスコンテストの健康産業有望プラン発掘コンテストを平成29年より毎年実施。主に関西のヘルスケア関連企業・自治体・大学等研究機関のネットワークを有し、直近では前記に加えて堺市のヘルスケア企業コンソーシアム、高石市の運営する市民企業行政共創型のリビング・ラボの運営にも携わる。